

## 平成 25 年度成果報告 住民課総括

### 1. 福祉一般福祉一般

原油価格の高騰により灯油代が上昇したため、生活保護世帯や要援護世帯等に対して冬期の灯油代の助成を行った。商工会のなぎそ・おたのしみカード会が発行する灯油専用商品券を交付する方法で実施した。

交付枚数 2,180 枚（218 人に交付）使用枚数 2,116 枚（助成額 1,058 千円）

長野県が行う「ながの子育て家庭優先パスポート事業」（18 歳未満の子供を 1 人以上育てている世帯が県内の協賛店で割引などのサービスを受けられる事業）に参加し、366 世帯にパスポートカードを交付した。

民生児童委員について、3 年間の任期が終了して改選期を迎えたため、民生委員推薦会を開催して推薦を行い、12 月 1 日付で新委員が任命された。

### 2. 児童福祉

読書保育園舎耐震改修工事の実施に当たり、一時的に田立社会教育施設に引越した。引越し先である田立社会教育施設を保育園（福祉）施設とする工事完了後の 9 月 15 日、16 日に引越しを行い、翌日から平成 26 年 2 月末まで当該施設で保育を行った。併せて、同年 2 月末までに読書保育園舎の耐震改修工事を行い、引越し後の翌 3 月 3 日から読書保育園舎で保育を開始した。

また、着工前は保護者会と会議を数回持って、通園バスの新規運行に関することや安全対策等について協議した。卒園式に間に合うように実施することや延長保育時間の拡大等について保護者会からの要望に対応をした。

### 3. 介護保険

第 6 期介護保険事業計画が平成 27 年度から始まるが、一部の介護予防給付の地域支援事業へ移行等の制度改正の中身について議論が行われた。

また、地域で自立した生活が送れるように、地域生活支援のアンケート調査を実施し、ささえ合い体制づくりの地域懇談会を社協と協力して実施した。

### 4. 保健衛生

前年度まで任意予防接種で実施していた子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種が定期接種となった。

坂下病院救急医療費の経費負担について、中津川市及び大桑村との協定が終了することに伴い、平成 26 年度からの新たな協定を締結した。

### 3. 住民課所管

#### 1. 戸籍住民基本台帳事務関係

##### (1) 戸籍

○届出別事件数

(単位：件)

事件の種類	本籍人	非本籍人	計	対前年比	事件の種類	本籍人	非本籍人	計	対前年比
出生	44	3	47	△8	国籍取得	0	0	0	±0
認知	0	0	0	±0	入籍	21	0	21	+16
養子縁組	7	0	7	+6	分籍	0	0	0	△1
養子離縁	0	0	0	±0	失踪	0	0	0	±0
婚姻	82	1	83	+4	復氏	0	0	0	±0
離婚	12	0	12	+1	氏の変更	1	0	1	+1
法77条の2	4	0	4	±0	名の変更	0	0	0	±0
法73条の2	0	0	0	±0	転籍	28	0	28	△12
親権	0	0	0	△1	職権訂正	7	0	7	△2
死亡	102	4	106	+5	不受理申出	1	0	1	±0
国籍選択	0	0	0	±0	帰化	0	0	0	±0
国籍喪失	0	0	0	±0	その他	1	0	1	±0
国籍留保	1	0	1	+1	計	311	8	319	+10

○戸籍数 3, 211戸 (△32戸) 【平成26年3月31日】

○戸籍人口 7, 637人 (△143人) 【平成26年3月31日】

○処理事件数 新戸籍編成 34件 (+13件)

戸籍全部消除 66件 (△8件)

違反通知 0件 (±0件)

戸籍再製 1件 (+1件)

※ ( ) 数字は対前年比較数字 (以下同じ)

○戸籍に関する証明書等交付数

全部事項証明書 戸籍 959件

除籍 108件

個人事項証明書 戸籍 225件

除籍 29件

謄本 除籍 1,050件

抄本 除籍 0件

その他証明等 5件

届書に基づく証明 7件

計 2,383件 (△131件)

##### (2) 住民基本台帳

○人口 【平成26年3月31日現在】

男 2,196人 (△20人) うち外国人 5人

女 2,443人 (△22人) " 20人

計 4,639人 (△42人) " 25人

世帯数 1,848世帯 (△7世帯)

○届出事件別の延べ人数

転入 162人(+45人) 転出 152人(+4人) 転居 58人(+2人)  
 出生 28人(+1人) 死亡 78人(+6人) その他101人(△13人)  
 計 579人(+45人)

○処理事件別の延べ人数

住民票記載 190人  
 住民票削除 230人

○住民記録に関する証明書等交付数

戸籍の附票 126件  
 住民票 1,669件  
 印鑑登録 131件  
 印鑑証明 1,476件  
 身元証明 68件  
 閲覧 0件  
 その他証明 48件  
 計 3,518件(+10件)

○年齢別人口【平成26年3月31日現在】

(単位：人)

年齢	男	女	計	年齢	男	女	計
0～4	92	80	172	55～59	167	154	321
5～9	92	86	178	60～64	194	195	389
10～14	66	85	151	65～69	193	172	365
15～19	99	97	196	70～74	152	186	338
20～24	82	74	156	75～79	148	204	352
25～29	79	66	145	80～84	117	195	312
30～34	97	96	193	85～89	91	155	246
35～39	107	108	215	90～94	43	101	144
40～44	104	109	213	95～99	10	25	35
45～49	138	125	263	100～	0	5	5
50～54	125	125	250	合計	2,196	2,443	4,639

(3) 中長期在留者及び特別永住者【平成26年3月31日現在】

○登録人口 25人 (△2人)  
 ○登録世帯 19世帯 (△3世帯)  
 ○国籍別人員  
     韓国又は朝鮮 10人 (±0人)      中国 7人 (△1人)  
     フィリピン 7人 (+1人)      タイ 1人 (±0人)  
     アメリカ 0人 (△1人)      アイルランド 0人 (△1人)

(4) 住民基本台帳ネットワークシステム

【住民基本台帳カード交付状況等】	23年度	24年度	25年度
○住民基本台帳カードの発行件数	25件	7件	6件
○住民票の写しの広域交付発行件数(交付地分)	4件	0件	5件
○住民票の写しの広域交付依頼承認件数(住所地分)	9件	0件	5件
○転入、転出手続の特例			
<<特例転入届>>	0件	0件	3件
<<特例転出届>>	0件	2件	0件

## 2. 福祉関係

### (1) 社会福祉関係

#### ① 一般

- ・ 行路人関係 供養 ※光徳寺にて毎年実施 供養費:30,000円  
支援費 3名に支給 900円 (※300円/回)
- ・ 公園等管理 天白忠霊塔 30,000円  
マレットゴルフ場 0円
- ・ 各種福祉団体への支援  
長野県日中友好協会 10,000円  
保護司会 70,000円  
社会を明るくする運動 61,000円  
人権擁護委員会 54,000円
- ・ 在住外国人福祉金支給事業  
支給対象者1名 240,000円 (月額:20,000円)
- ・ 南木曾町社会福祉協議会への支援  
運営補助金の交付 9,105,695円
- ・ 南木曾町社会福祉協議会への委託事業  
心配ごと相談事業 相談件数 5件 (内電話相談3件) 163,002円  
結婚相談事業 結婚実績 0件 独身交流会 97,360円  
ボランティア推進 等 34,733円
- ・ 県事業関係  
長野県長寿社会開発センター 活動グループ個人加入 2名  
シニア大学 2年生3人 (33回生) 1年生5人 (34回生)
- ・ 地域福祉活動支援事業補助  
遺族会 55,000円 身体障害者福祉協会 130,000円  
母子寡婦福祉会 42,000円 手をつなぐ育成会 30,000円

#### ② 無医地区等解消事業

- ・ 乗り合いタクシー (おたっしゅ号) の維持管理 433,769円※運行管理は総務課

#### ③ 民生児童委員活動事業

- ・ 民生児童委員 17名 主任児童委員 2名
- ・ 民生児童委員協議会開催 年12回
- ・ 民生児童委員活動 事業費 2,223,520円 (県交付金1,247,730円)
- ・ 相談件数
 

高齢者に関すること	72件
障害者に関すること	38件
子どもに関すること	35件
その他	36件
合 計	181件
- ・ 活動件数
 

訪問活動	1,713件
調査実態把握	442件
地域福祉活動	247件
その他の活動	667件
合 計	3,069件

- ・連絡調整件数 連絡調整件数 375件
- ・木曾郡南部民生児童委員協議会合同研修 年1回（上松町が当番開催地）
- ・入所者施設訪問 6日間で15施設（入所者：27名）を訪問
- ・民生児童委員任期満了に伴う推薦会の開催  
民生児童委員の任期（平成22年12月1日～平成25年11月30日）満了に伴い  
民生委員法に基づき委員を委嘱し、推薦会を開催。委員の選任を行った。  
推薦会：8月2日 出席委員：14名

④人権尊重まちづくり事業

- ・人権擁護委員3名
- ・人権相談所開設 年間4回（6、9、12、2月）相談者2名 役場二階委員会室
- ・人権週間（12月4日～10日）住民への周知

⑤生活保護（事業費：県負担）

生活	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末(延)	25年度末の内 入院入所数 8世帯 8人
保護	16世帯	16世帯	15世帯	18世帯(20)	
世帯	16人	18人	16人	19人(21)	

⑥保健師等業務

- ・子育て支援関係  
子ども関係会議31回、母子保健連絡会4回、家庭訪問15回
- ・障害者支援関係  
家庭訪問実績 精神障害関係48回、身体・知的障害関係12回  
会議実績 地域ケア会議12回、個別会議47回
- ・生活保護関係  
家庭訪問 生活保護37回、個別支援会議 9回

⑦福祉灯油助成券交付事業

生活保護世帯及び要援護世帯等に対し、平成25年度の原油高騰に伴い緊急的に冬期間の灯油代の一部を助成することによって、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的とし、一世帯あたり1枚500円の灯油専用商品券10枚（5,000円分）を配布。

- ・助成対象世帯  
平成26年1月1日現在、南木曾町に住所を有し現に居住している世帯で、平成25年度町民税が非課税となっている下記のいずれかに該当する世帯。  
※平成25年度町民税課税者の被扶養者となっている者の属する世帯及び町税滞納者の属する世帯は除く。
- (1) 生活保護法により生活の扶助を受けている世帯
- (2) 75歳以上の者のみで構成されている世帯（年齢は平成26年4月1日現在）
- (3) 身体障害者手帳1・2級、療育手帳B1以上及び精神障害者保健福祉手帳1・2級に該当する者の属する世帯
- (4) 要介護認定区分の要介護度4・5に該当する者の属する世帯
- (5) 国民年金法施行令別表に該当する者の属する世帯の内、65歳以上の者のみで構成されている世帯（年齢は平成26年4月1日現在）
- (6) ひとり親世帯
- (7) 民生児童委員協議会の意見により特に町長が必要と認めた世帯

該当号	内 容	配布数
1号	生活保護世帯	6
2号	75歳以上のみの高齢者世帯	172
3号	身障1・2級 療育B1以上 精神1・2級	47
4号	要介護認定4・5の者が属する世帯	12
5号	国民年金別表 65歳以上の世帯	23
6号	ひとり親世帯	7
7号	町長特認	9
重複世帯		△58
合 計		218

・配布数 2,180枚 使用数 2,116枚（支出金額 1,058千円）

## (2) 老人福祉関係

### ①老人数等

(平成26年3月31日 住民基本台帳)

人口	4,639人(内25人外国人)
65歳以上人口	1,797人(総人口に占める割合38.7%)
前期高齢者(65～74歳)人口	703人(総人口に占める割合15.1%)
後期高齢者(75歳以上)人口	1,094人(総人口に占める割合23.6%)
独居老人(65歳以上)数	382人

### ②施設入所措置

#### ・老人福祉施設措置入所状況

養護老人ホーム 木曾寮(上松町)延8人(年度内の入所1、死亡3)  
 養護老人ホーム 光道園 第一光が丘ハウス(福井県)1人(年度内の死亡1)  
 養護(盲)老人ホーム ひとみ園(埼玉県)1人  
 養護老人ホーム 南箕輪老人ホーム(南箕輪村)1人

(平成26年3月31日現在入所者 7人)

=木曾寮5、ひとみ園1、南箕輪1)

### ③敬老事業

・敬老祝賀事業 88歳以上の方を対象に、祝状(保育園児が田立和紙に絵を描いたもの)、長寿番付を贈呈した。

対象者295人(町長訪問 88歳45人 99歳以上10人) 和紙代等:90,475円

・敬老会助成事業

1地区 2,000円、75歳以上の参加者1人あたり200円を助成。

社協で行っている敬老会助成事業に上乘せして社協経由で各地域へ助成

22会場実施 助成額:210,600円(地区割:102,000円 人数割:108,600円)

### ④在宅福祉事業

・高齢者在宅介護支援事業

緊急通報体制等整備事業

緊急通報装置付き電話設置状況 47台(平成26年3月31日現在)

・高齢者タクシー・リフトバス乗車券助成事業

交付者 43名 利用枚数 244枚 121,900円

### ⑤老人いきがい対策事業

・老人クラブ 6クラブ(会員数675人)、1連合会

老人クラブ等活動助成補助金:371,000円

⑥木曾シルバー人材センター

- ・会員数 30名（男27名 女3名）（平成26年3月31日現在）
- ・受注件数 204件 受注額 14,702,410円  
（うち、公共65件6,274,122円、企業・一般139件8,428,288円）
- ・南木曾地区懇談会 1回
- ・木曾シルバー人材センター運営 負担金 2,241,000円

⑦在宅介護支援センター運営事業

- ・南木曾町社会福祉協議会へ委託
- ・事業内容 総合相談・24時間対応・福祉用具展示 委託料:300,000円

⑧寄付等の状況

- ・平成25年度分 0件

(3) 障害者福祉関係

①障害者数の推移

- ・身体障害者手帳所持者状況

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
270人	268人	280人	271人

- ・療育手帳所持者状況

年度	重度	中度	軽度	計
平成22年度	12人	20人	11人	43人
平成23年度	13人	18人	14人	45人
平成24年度	13人	19人	16人	48人
平成25年度	13人	18人	20人	51人

- ・精神障害者保健福祉手帳所持者の状況

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
20人	22人	22人	24人

②障害者手当等受給状況

- ・県事業関係

特別児童扶養手当 8人 1級3人 50,400円/月、2級5人 33,570円/月  
 障害児福祉手当 1人 14,280円/月  
 特別障害者手当 9人 26,260円/月  
 心身障害者扶養共済掛金加入者 4人

③一般

- ・関係機関との連携と支援

中信社会福祉協会 負担金: 255,395円  
 きそ子供センター 負担金: 519,200円  
 障害者総合支援センター「ともに」 負担金: 843,000円  
 木曾地域自立支援協議会 負担金等なし

④障害者福祉事業

- ・就労継続支援（B型）事業所ひだまり工房の運営に対する補助  
補助金額 3,700,000円

運営主体 南木曾町社会福祉協議会  
 開所日数等 252日 前年度249日  
 延利用者数 1,799人（1日平均7.14人） 前年度1,936人  
 作業代金 1,896,139円（1人平均19,475円/月） 前年度2,309,151円

- ・障害者にやさしい住宅改良促進事業  
補助申請 0件
- ・身体知的障害者福祉事業  
心身障害児（者）タイムケア事業      利用者 0名    利用量 0時間

⑤難病患者等福祉事業

- ・難病患者ヘルパー事業      利用者    なし
- ・難病患者短期入所事業      利用者    なし
- ・難病患者日常生活用具給付事業      利用者    なし

⑥障害者自立支援給付事業

- ・介護給付・訓練等給付
  - 居宅介護（ホームヘルプ）      利用者 5名    1,375千円
  - 短期入所（ショートステイ）      利用者 3名    3,592千円
  - 生活介護      利用者 14名    37,944千円
  - 施設入所支援      利用者 11名    15,501千円
  - 就労移行支援      利用者 0名    0千円
  - 就労継続支援      利用者 16名    20,374千円
  - 自立訓練      利用者 2名    684千円
  - 共同生活介護・援助  
（ケアホーム・グループホーム）      利用者 8名    12,344千円
  - 特定障害者特別給付費      利用者 18名    2,597千円
  - サービス利用計画      利用者 6名    735千円
- ・補装具費給付      利用者 10名    945千円
- ・自立支援医療（更生医療）      利用者 3名    894千円
- ・自立支援医療（療養介護医療費）      利用者 1名    830千円

⑦障害者地域生活支援事業

- ・相談支援事業      定例相談を年12回（ともにへ委託）      委託料：181,730円
- ・日常生活用具給付等事業      ストマ装具ほか 43件      事業費：832,141円
- ・障害者タクシー・リフトバス乗車券助成      交付者69名      利用枚数 741枚  
事業費：370,500円
- ・地域活動支援センターの運営      委託料：2,259,000円
  - 委託先      NPO法人なぎそ福祉会 「萬屋」
  - 場所      吾妻4554-1 （奥志水）
  - 開所日数等      146日（毎週 火・木・土曜日開所）
  - 延利用者数      491人（1日平均3.3人）
- ・その他事業
  - 訪問入浴サービス      利用者 0名    利用回数 0回    事業費：0円
  - 日中一時支援サービス      利用者 5名    利用量263.5時間    事業費：252,230円
  - 移動支援事業      利用者 3名    利用量536.0時間    事業費：747,080円
  - 自動車運転免許取得・改造助成事業      0件      事業費：0円
  - 社会参加促進事業（レクリエーション交流会）      1回開催      事業費：6,290円

⑧地域活動支援センター等通所費補助金

- ・在宅の障害者が町外の地域活動支援センター等に通所するために必要な交通費を補助するもの。  
対象者 3名    事業費：147,995円

(4) 母子(父子)福祉関係

① 母子家庭の状況

	死別	離婚	その他	計
平成20年度	3人	32人	1人	36人
平成21年度	2人	38人	1人	41人
平成22年度	3人	33人	2人	38人
平成23年度	4人	32人	3人	39人
平成24年度	4人	33人	2人	39人
平成25年度	3人	33人	2人	38人

② 父子家庭の状況

	死別	離婚	計
平成18年度	2人	8人	10人
平成21年度	2人	9人	11人
平成24年度	2人	7人	9人

父子家庭調査は3年に1度の調査となったため、次回は平成27年度に実施予定

③ 県事業関係

- ・児童扶養手当 受給者 25名(全部支給8名 一部支給17名)(平成26年3月現在)  
全部支給額41,140円/月  
一部支給額 9,710円/月～41,130円/月(所得により算定するため、個々に差あり)

(5) 児童福祉

①保育所関係

○入所児童数 (平成26年3月31日現在)

(単位:人)

入所者数	読書保育園				蘭保育園				田立保育園				合計
定員	90				30				30				150
入所人員	未 満 児	3 歳	4 歳	5 歳	未 満 児	3 歳	4 歳	5 歳	未 満 児	3 歳	4 歳	5 歳	
	6	35	17	25	1	3	3	5	3	5	9	7	
計	83				12				24				119

○運営費

(単位:円)

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	保 育 料	29,130,672	7.2%
	国・県補助金	39,222,550	9.6%
	町 負 担	275,300,192	67.7%
	基金繰入金	60,000,000	14.7%
	諸 収 入	3,272,500	0.8%
	歳 入 合 計	406,925,914	100.0%
歳 出	保 育 運 営 費	122,936,889	30.2%
	(内人件費相当分)	(99,222,517)	(80.7%)
	施 設 管 理 費	1,269,722	0.3%
	基金積立金	88,200,000	21.7%
	建 設 改 良 費	194,519,303	47.8%
	歳 出 合 計	406,925,914	100.0%

※国・県補助金に電源立地地域対策交付金 17,187,000円を含む。  
 ※国・県補助金に地域の元気臨時交付金 22,000,000円を含む。  
 ※保育運営費に南木曾町すこやか子育て支援事業費補助金 5,111,200円を含む。

○保育料徴収状況

(単位:円)

年度	内 容	調定額	収入済額	滞納額	徴収率
現年	保 育 料	28,494,630	28,494,630	0	100.0%
	延長保育料	416,600	416,600	0	100.0%
過年	保 育 料	1,002,532	219,442	783,090	21.9%
	延長保育料	111,600	0	111,600	0.0%
計		30,025,362	29,130,672	894,690	97.0%

○保育所広域入所実施状況

- ・中津川市から受入 1名 委託料 695,840円 (歳入)
- ・大桑村から受入 1名 委託料 804,900円 (歳入)
- ・恵那市から受入 1名 委託料 167,420円 (歳入)
- ・中津川市へ広域入所 2名 委託料 558,660円 (歳出)

○通園バス・タクシー運行状況

今年度は、読書保育園耐震改修等工事に伴い、工事期間中は田立社会教育施設で保育を実施したため、読書保育園の全園児（未満児は除く。）を送迎した。

<読書保育園通常期間>

与川・上の原線（登園）南木曾観光タクシー  
 （降園）おんたけ交通  
 北部線（登園）おんたけ交通  
 （降園）南木曾観光タクシー  
 妻籠・読書線（登園）南木曾観光タクシー  
 （降園）南木曾観光タクシー

<読書保育園耐震改修等工事期間>

与川・上の原・三留野線  
 （登園）南木曾観光タクシー、おんたけ交通 ※  
 （降園）おんたけ交通、南木曾観光タクシー ※  
 北部・南木曾駅前線  
 （登園）おんたけ交通  
 （降園）南木曾観光タクシー  
 妻籠・神戸線（登園）南木曾観光タクシー  
 （降園）南木曾観光タクシー

※与川～南木曾小学校間は南木曾観光タクシー、南木曾小学校～田立社会教育施設間は  
 おんたけ交通により送迎。

<蘭保育園>

蘭・広瀬線（登園）南木曾観光タクシー  
 （降園）南木曾観光タクシー

<田立保育園>

田立線（登園）南木曾観光タクシー  
 （降園）南木曾観光タクシー

・通園タクシー委託料（福祉係契約分） 2, 844, 470円

与川・上の原線（登園）、与川・上の原・三留野線（降園）の南木曾小学校～与川間（工  
 事期間中）、田立線は、福祉係で契約。  
 福祉係契約以外は、新交通システムで契約。

○年長児園外行事については、園・保護者会共催（園は職員を派遣）で実施

○土曜日・長期休園時希望保育登園実人員状況 単位：人（ ）は24年度

保育園名	土曜日	春季	夏季	冬季
読書保育園	3( 2)	26(25)	16(44)	15(19)
蘭保育園	0( 0)	5( 5)	11( 9)	0( 0)
田立保育園	3( 1)	14(14)	14(21)	5( 5)
計	6( 3)	45(44)	41(74)	20(24)

○延長保育実施状況 単位：人（ ）は24年度

保育園名	利用者実人数	利用者延回数
読書保育園	46(46)	2,565(2,826)
蘭保育園	2( 7)	10( 39)
田立保育園	14(17)	1,591(1,522)
計	62(70)	4,166(4,387)

- ・延長保育への対応
  - 平日 早朝保育 午前7時30分～午前8時30分（読書・蘭）  
午前7時00分～午前8時30分（田立）
  - 延長保育 午後5時00分～午後6時00分（読書・蘭）  
午後5時00分～午後6時30分（田立）
  - 土曜 延長保育 保育終了時から12時45分まで全園で実施
- ・仮園舎通園期間中の対応（読書保育園のみ）
  - 平日 早朝保育 午前7時00分～午前8時30分
  - 延長保育 午後5時15分～午後6時30分
  - 延長保育料1回当たり 町徴収基準 100円

○保育所審議会の開催状況

- ・第1回 平成26年 3月 5日
  - ・読書保育園見学（耐震改修工事完成）
  - ・平成26年度保育所運営体制について
  - ・耐震改修経過及び今後の耐震改修計画について
  - ・子ども子育て支援法について

○保育園保護者代表者会議

- ・第1回 平成25年 5月 8日
  - ・平成25年度保育所運営体制について
  - ・耐震（精密）診断結果について

○保育園入園説明会 平成25年12月 4日 南木曾会館

○南木曾町すこやか子育て支援事業費補助金

- ・子育て支援として、幼児の保育園就園に伴う保護者の経済的負担の軽減を目的とした「南木曾町すこやか子育て支援事業費補助金」を交付した。
- ・対象者は、南木曾町に住所を有する年少児から年長児までの者を扶養しており、当該保育料を南木曾町へ納付している幼児の保護者。

※補助金額：保護者が納付した保育料月額約20%相当額

- ・第1回 支給対象者数 109名 支払額 1,661,000円
- ・第2回 支給対象者数 109名 支払額 1,716,400円
- ・第3回 支給対象者数 109名 支払額 1,733,800円
- 支払額計 5,111,200円 (H24 4,602,500円)

○保育園耐震改修等について

- ・平成25年度田立社会教育施設改修工事設計監理業務  
田立社会教育施設の改修工事の設計監理業務を委託した。  
履行期間：平成25年4月25日から平成25年9月18日まで  
委託業者：小倉建築設計事務所 委託料：1,247,000円
- ・平成25年度田立社会教育施設改修工事  
読書保育園の耐震改修等工事に伴い、工事期間中は田立社会教育施設にて保育を実施するため、施設の改修工事を行った。  
工期：平成25年7月12日から平成25年9月16日まで  
施工業者：(株)麦島建設長野営業所 工事費：15,907,500円
- ・平成25年度南木曾町立読書保育園園舎耐震改修等工事設計監理業務  
読書保育園の耐震改修等工事の設計監理業務を委託した。  
履行期間：平成25年5月22日から平成26年3月7日まで  
委託業者：(株)鈴木建築設計事務所 委託料：8,925,000円

- ・平成25年度南木曾町立読書保育園園舎耐震改修等工事  
平成24年度に実施した耐震精密診断の結果に基づき、施設の耐震工事及び改修工事を行った。  
工 期：平成25年8月27日から平成26年2月28日まで  
施工業者：(株)麦島建設長野営業所 工事費：148,134,000円
- ・平成25年度南木曾町立読書保育園厨房機器工事  
読書保育園耐震改修等工事に併せて、厨房機器を更新した。  
工 期：平成25年10月22日から平成26年2月28日まで  
施工業者：タニコー(株)松本営業所 工事費：9,124,500円
- ・平成25年度読書保育園イントラ施設改修工事  
読書保育園耐震改修等工事に併せて、イントラ施設の改修工事を行った。  
工 期：平成26年1月27日から平成26年2月8日まで  
施工業者：NECネットエスアイ(株)長野営業所 工事費：210,000円
- ・平成25年度南木曾町立田立保育園耐震改修等工事設計業務  
田立保育園の耐震改修等工事の設計業務を委託した。  
履行期間：平成25年12月6日から平成26年3月10日まで  
委託業者：(株)鈴木建築設計事務所 委託料：8,925,000円

○緊急災害時降園訓練について

- ・平成23年3月に起きた東日本大震災の教訓もあり、南木曾町の保育園においても災害時に確実に園児を保護者の方に引き渡すことが出来るようメール配信システムを活用し、受渡訓練を実施した。  
・読書保育園 10月11日 ・蘭保育園 8月30日 ・田立保育園 8月23日

○給食用食材の放射能性物質検査

- ・町では、東日本大震災による原子力発電所事故に伴う放射能漏れに対し、給食食材への影響を不安に思う保護者の要望に答えるため、平成24年度から長野県の協力を得て、放射性物質検査を実施した。

検査方法 NaI (TI) シンチレーションスペクトロメータによるスクリーニング検査  
検査場所 長野県中信教育事務所  
検査対象 町内保育所  
検査結果

検査日	給食施設名	検査食材	生産地	検査結果 (Bq/kg)		検査場所
				放射性セシウム		
				134	137	
H25. 4. 23	田立保育園	さつまいも	千葉県	不検出		中信教育事務所
H25. 5. 29	蘭保育園	ごぼう	青森県	不検出		中信教育事務所
H25. 6. 18	読書保育園	大根	愛知県	不検出		中信教育事務所
H25. 7. 24	蘭保育園	にんじん	青森県	不検出		中信教育事務所
H25. 8. 28	田立保育園	にんじん	北海道	不検出		中信教育事務所
H25. 9. 5	読書保育園	チンゲン菜	愛知県	不検出		中信教育事務所
H25. 10. 9	蘭保育園	長ねぎ	高知県	不検出		中信教育事務所
H25. 11. 8	読書保育園	にんじん	北海道	不検出		中信教育事務所
H25. 12. 4	田立保育園	長ねぎ	愛知県	不検出		中信教育事務所
H26. 1. 10	読書保育園	大根	愛知県	不検出		中信教育事務所
H26. 2. 5	田立保育園	にんじん	愛知県	不検出		中信教育事務所
H26. 3. 18	蘭保育園	玉ねぎ	北海道	不検出		中信教育事務所

- スクリーニング検査の結果、放射性物質の検出が疑われた場合は、長野県環境保全研究所において再検査を実施
- 「不検出」とは、放射性物質が存在しない、または測定下限値未満であることを表し、この検査の測定下限値は12.5Bq/kg
- 「再検査」とは、長野県環境保全研究所において再検査を実施していることを表す。  
※平成24年4月1日から施行されている「一般食品」に係る放射性セシウムの基準値は、100Bq/Kg

②児童手当支給状況（平成25年2月～平成26年1月分）

区 分		受給者数(人)	延児童数(人)	支払額(円)
0～3歳未満	被用者	61	742	11,130,000
	非被用者	8	97	1,455,000
3歳以上 小学校修了前	被用者(第2子まで)	146	2,274	22,740,000
	被用者(第3子～)		488	7,320,000
	非被用者(第2子まで)	28	411	4,110,000
	非被用者(第3子～)		58	870,000
中学生	被用者	58	776	7,760,000
	非被用者	10	126	1,260,000
特例給付		3	36	180,000
計		314	5,008	56,825,000
支払額の負担内訳(円)		国 39,614,666	県 8,605,166	町 8,605,168

※ 特例給付：平成24年6月より所得制限等が設けられ、児童を養育している方（受給者）の所得が限度額を超えた場合、児童1人あたり月額一律5,000円の支給となった。

・支給額

- 0～3歳未満（一律）：15,000円
- 3～小学校修了前：10,000円（第3子以降は15,000円）
- 中学生（一律）：10,000円
- 特例給付（一律）：5,000円

③子育て支援事業

○おやこのひろば

就園前の子どもとその保護者が参加するあそびの場の提供、子育て相談の対応等  
総事業費 3,812,569円（うち国庫補助金1,878,000円）

親子が気軽に集い、子育ての情報交換・交流・相談・こどものあそび等ができる場所作り  
保護者サークルに対する協力・支援を行った。

- ・開設場所：南木曾会館日本間・ホール 田立社会教育施設の一室(出張ひろば)
- ・スタッフ：5名 ※職員1名、臨時職員1名、パート3名で交代（開催日には2名以上体制）
- ・開催回数：238回 参加延人数：2,661人  
※3月(19・27・31)放課後子ども教室との交流

○保育園開放

保護者：年齢に応じた関わり方、遊び等を知る。

保育園舎・園庭を開放し、親子で遊ぶ・他の園児と遊ぶ。

子ども：生活を広げる。

子ども自身が、普段経験できない“集団”を身近に感じる。

職員：参加親子の日頃の悩み等の相談に応じる。

- ・開催回数：15回 参加延人数：449人

○子育て講座の開催

・絵本と子育て

「楽しく絵本に親しみながら、絵本を通して子育てを楽しむために」  
読み聞かせ・講師を招き子育て講演会を開催

6/17 参加者 31名                      11/13 参加者 19名  
12/3 参加者 81名                      3/17 参加者 38名

・救急法            講師：木曾消防署南分署    開催日：7月1日    参加者：21名

・音楽を楽しもう    講師：打楽器演奏者    開催日：3月31日    参加者：29名（交流会含む）

・年齢別講座

「年齢別の交流と子育て講座」

0歳児：ベビーマッサージ    講師：助産師  
(7/23 23名・11/20 23名・2/24 21名)

1歳児：触れ合い遊びと子育て講座    講師：コーチング・NPプログラムトレーナー  
3月10日 29名

2歳児：触れ合い遊びと子育て講座    講師：コーチング・NPプログラムトレーナー  
11月1日 29名

0歳～3歳の親子 子育て講演会    講師：言語療法士  
「乳幼児の言葉の成り立ち」 9月26日 23名

・運動遊び    講師：トレーニング指導士    開催回数：12回    参加延人数：399人  
「子どもの脳力を育てる運動遊び」を親子で行う。

・リズム遊び    講師：おやこのひろばスタッフ    開催回数：11回    参加延人数：299人  
親子でリトミックあそび（リズムに合わせて動く・表現する）を行う。

・キッズエアロ    講師：エアロビクスインストラクター    開催回数：12回    参加延人数：437人  
親子でエアロビクス(音楽やリズムに合わせて身体を動かす)を行う。

○一時預かり事業（利用料：500円×112H＝56,000円）

1歳から3歳までの未就園児を対象に南木曾会館のおやこのひろばの会場で預かる事業

※預かりスタッフは、おやこのひろばのスタッフで対応するので、特別な加算なし。

平成25年度利用者：延べ人数 39名

利用理由：母の用事・保育園の行事等※里帰り出産で帰ってきた子の預かりも実施  
はじめて母から離される子に対しては、託児スタッフはマンツーマンでの対応が必要

○療育・発達等相談

巡回療育相談の調整と相談    開催回数：10回    対象児数：29人

※総合障害児者支援センター「ともに」による県事業

参加者：言語療法士・作業療法士・療育コーディネーター・保健師・保護者等

内容：言語・集団行動・発達・理解力

対象児：未就園児・保育園児（5歳児は場合によって就学相談に移行）

相談は、未就園児も含め、保護者が参加する機会が増えている。

○理学療法士による保育園巡回指導

開催回数：10回（読書4回、蘭3回、田立3回）

各園を巡回し、園児のリズム遊びを通して成長・発達面から助言・指導  
園児全体の発達及び個別の相談にも対応（保護者参加あり）

- 職員研修 保育所職員他参加  
「言葉を伸ばす関わり方」について  
講師：言語療法士 開催日 6/7 9/26

- 個別訪問  
乳幼児へ「おやこのひろば」の毎月のお便り配布  
参加のない家庭や、健診時に子育てに困難を示していた家庭を訪問

- 乳児健診・幼児健診に参加  
家庭と幼児の状況把握・相談受付等  
・乳児健診：毎月（12回） ・幼児健診：隔月（年6回）

- 育ちの会ぱれっと（障害児を育てる親の会：会員11名）  
定例会に参加（不定期開催）土曜日 18：30～20：30 役場にて  
話し合い内容：現状や今の課題（悩み）・今後の課題等  
開催回数：4回 参加延人数：26人  
\*開催については、参加者が次期開催日を検討しおおまかな日程を決める。  
年間4回の開催

- 南木曾町育児ミニ・ファミリー・サポート事業  
・子育て中の住民が、安心して子どもを育てることができる環境づくりと、仕事と育児の両立、  
また、児童福祉の向上を図るために実施  
・提供会員（サポーター）15名 ・依頼会員10名 ・両方会員1名  
利用延件数…16件（学校の長期休みに放課後こども教室の送りの利用）

- 南木曾町こどもサポート協議会  
・児童福祉法第25条の2に規定する要保護児童対策協議会として設置  
**代表者会議**：開催回数1回 7月16日 参加者：25名  
内容：児童の状況（H24年度・H25年度）、巡回療育事業について、子ども関係の家庭による高齢者虐待状況について 他  
**母子保健連絡会**：開催回数4回 延べ件数：302件  
内容：こどもサポート協議会の実務者会議  
こどもの現状・課題・今後の方向等の情報

**個別ケース会議**

所属	開催回数	対象実人数	延人数
保育園	1回	1人	1人
その他	1回	1人	1人
小学校	3回	3人	3人
中学校	8回	3人	8人
養護学校	6回	4人	6人
高等学校	1回	1人	1人
通信制高校	2回	1人	2人
町	4回	3人	6人
<b>計</b>	<b>26回</b>	<b>17人</b>	<b>28人</b>
参考【H24計】	46回	22人	58人

○ブックスタート

乳児と保護者が絵本を通して、豊かな時間を共有し絵本に親しんでもらう為、読み聞かせを行い贈呈する。(5冊中1冊を対象者が選択)

- ・対象：8カ月児、27名
- ・場所：南木曾会館
- ・スタッフ：おやこのひろばスタッフ・読み聞かせボランティア
- ・開催回数：12回、参加延人数：27名

⑤児童遊具事業

- ・保守点検 町内児童遊園10箇所、保育所3箇所の保守点検を実施  
保守点検委託業者：(有)日本幼年教育研究社 委託料：105,735円
- ・修繕箇所 町内児童遊園7箇所(遊具8個)、保育所3箇所(遊具4個)の修繕を実施  
施工業者：(有)日本幼年教育研究社 修繕料：298,410円

⑥ながの子育て家庭優待パスポート事業

「ながの子ども・子育て応援県民会議」が市町村と連携・協働して、企業・店舗の皆様の協賛を得ながら、地域全体で「子どもと子育て家庭」を応援する事業。内容は、18歳未満の子ども(18歳に達する年度の3月末まで)を1人以上育てている世帯に、県内の協賛店が設定した割引などのサービスが受けられるパスポートカードを発行するもの。

- ・発行世帯 366世帯 対象児数 661名

(6) 戦没者遺族援護

- ・南木曾町遺族会活動援助  
会員数：121名 (平成26年4月1日現在 総会資料による)  
※補助額：55,000円(前掲)
- ・第27回戦没者等の妻に対する特別給付金

## (7) 福祉医療給付状況

事業区分	内 訳	24年度	25年度
①乳幼児児童医療費給付状況	給付対象者数	602人	585人
	給付件数	6,191件	6,019件
	給付額	8,691,040円	8,769,130円
	1件当り給付額	1,404円	1,456円
	(県補助金基本額)	3,221,700円	3,431,660円
	県補助金額 1/2	1,610,000円	1,715,000円
(うち町単分)			
※小学1年生から18歳に達する 年度末まで 小1～3年は入院分のみ	給付対象者数	378人	340人
	給付件数	2,926件	2,944件
	給付額	4,892,120円	4,788,340円
	1件当り給付額	1,672円	1,626円
②重度心身障害者医療給付状況	給付対象者数	226人	263人
	給付件数	4,633件	4,711件
	給付額	15,810,527円	15,816,303円
	1件当り給付額	3,413円	3,365円
	(県補助金基本額)	13,437,014円	13,353,180円
	県補助金額 1/2	6,718,000円	6,676,000円
(うち町単分)			
※国民年金法施行令別表該当者	給付対象者数	15人	22人
	給付件数	301件	309件
	給付額	1,651,530円	1,772,205円
	1件当り給付額	5,487円	5,735円
③母子家庭等医療費給付状況	給付対象者数	母31人・子49人	母23人・子42人
	給付件数	616件	557件
	給付額	1,382,370円	1,198,300円
	1件当り給付額	2,244円	2,151円
	(県補助金基本額)	1,267,280円	1,092,480円
	県補助金額 1/2	633,000円	546,000円
④父子家庭等医療費給付状況	給付対象者数	父3人・子5人	父2人・子5人
	給付件数	78件	101件
	給付額	140,970円	145,430円
	1件当り給付額	1,807円	1,440円
	(県補助金基本額)	126,180円	126,090円
	県補助金額 1/2	63,000円	63,000円
合 計	給付対象者数	916人	920人
	給付件数	11,518件	11,388件
	給付額	26,024,907円	25,960,678円
	1件当り給付額	2,259円	2,280円
	(県補助金基本額)	18,052,174円	18,003,410円
	県補助金額 1/2	9,024,000円	9,000,000円

注) ・給付対象者数は各年度末現在の人数

・県補助金交付対象は、自己負担金1レセプト500円で算出。町は300円で給付。

乳幼児児童の対象者について、町単事業の対象範囲を18歳に達する年度末までに拡大している。

### 3. 介護保険事業

木曾郡内の介護保険事業は、木曾広域連合を保険者として運営しており、今年度は平成24年度から26年度までの第5期介護保険事業計画の実施年度である。平成24年4月1日付の介護保険法の一部改正による給付状況を見据え、地域包括支援センターにおいて要支援者を対象とした介護予防ケアプランの作成や介護保険の対象とならない方を対象とする介護予防事業の充実を図りつつ、木曾広域連合の事業評価を受け、事業を実施している。

昨年度に引き続き、利用者に対する適切な介護サービスの確保と不適切な給付の削減等のため、保険者による適正化事業が実施された。

地域支援事業の要綱の改正により、介護予防日常生活支援総合事業が導入され、要綱を改正し事業を実施した。

町では、全高齢者対象に高齢者実態調査を実施し、チェックリスト該当者等個別訪問により介護予防事業等の利用を勧めた。また、住民との協働による介護予防事業を推進するため、介護予防サポーターを養成し地域ごとのサロン事業の拡充を図った。また、関係機関（町・公民館・社会福祉協議会）と連携したプロジェクトチームを継続し、介護予防施策の検討を引き続き行った。

20歳以上の方を対象に生活実態調査を実施し、生活の困りごとを把握した。それを基に、集会所単位で地域懇談会を社協と共催で開催し、地域支えあい有償ボランティア制度の導入準備に着手した。

介護保険事業計画の中に位置づけられている地域包括ケア体制の構築では、町内外の介護保険事業所や居宅支援事業所、医療機関等との定期的な会議や検討会などを開催し連携した。

#### (1) 一般事項 ( ) : 平成24年度

##### ①介護保険負担金精算関係

○給付費負担金	74,530,000	(69,803,000円)
○認定事務負担金	1,073,000	(1,175,000円)
○地域支援事業負担金	3,031,000	(2,920,454円)

※広域連合での清算により平成26年度に返還金が生じる予定

##### ②訪問介護利用者負担助成事業

###### ○24時間訪問介護利用者負担減免措置事業（町単独事業）

・事業内容	24時間訪問介護に係る加算分の利用者負担額を助成	
・対象者	24時間訪問介護利用者	
・事業実績	申請者	0人 (1人)
	事業費	0円 (1,145円)

##### ③高齢者緊急対応事業（町単独事業）

・事業内容	不測の事態が生じたため、介護保険サービスを利用する必要があるが、支給限度額不足等によりこれができない場合、同様のサービスを要介護者等に提供する。	
・事業実績	申請者	0人 (0人)
	事業費	0円 (0円)

#### (2) 地域包括支援センター

住民課福祉係内：保健師、主任ケアマネ・事務職の3名体制

- 地域住民からの総合的な介護や福祉に関する相談
- 介護予防事業の実施（一次予防事業・二次予防事業）
- 包括的支援事業の実施（介護予防ケアプランの作成・任意事業）
- 高齢者虐待の防止と権利擁護事業
- 地域包括ケア体制構築、ケアマネージャー支援など包括的に事業を行う。

(3) 介護予防・日常生活総合支援事業 ( ) : 24年度

①二次予防事業

○二次予防事業対象者把握事業 事業費 826千円 (664千円)

介護予防が必要である高齢者を選定する事業で、全高齢者対象に基本チェックリスト等配布し回収。該当者に地域包括支援センター職員(非常勤職員含む)による個別訪問を実施し介護予防事業等の利用を勧めた。

二次予防事業通所型事業参加者には、町内・町外医療機関との委託契約により、必要者に生活機能評価又は診療情報提供書による治療状況の把握等を行い事業を実施した。

・実施結果 ( ) は24年度実施人数

基本チェックリスト配布数 : 1, 773人 (1, 774人)  
 個別訪問確認者数 : 483人 (498人)  
 二次予防事業対象者 : 241人 (225人)  
 生活機能評価実施者 : 3人 (33人)  
 診療情報提供 : 117人 (0人)

○二次予防事業通所型事業

・パワーアップ教室 事業費 6,313千円 (5,255千円)  
 利用料 871千円 (868千円)

身体的機能(日常生活動作)の維持、向上を主な目的として運動機能訓練、口腔機能訓練、栄養指導を行う。併せて、閉じこもり予防やうつ予防等を図る。

参加者送迎実施。個別評価実施。(要支援者利用者の増加・送迎対象者の増加)

・開催及び参加状況

開催場所	対象地区	実参加者 (24年度)		開催回数
北部分館	与川・北部	26人	(27)	各会場年24回開催 ※月2回
三留野分館	三留野	56人	(57)	
蘭分館	蘭・広瀬	34人	(34)	
南木曾会館	東南栄町 神戸・妻籠	46人	(40)	
田立分館	田立	43人	(37)	
合計		205人	(195)	119回(延べ2,903人)

※参加者の年齢構成

65歳～69歳 3人 70歳～79歳 74人 80歳～89歳 113人 90歳以上 15人  
 (65歳～69歳 8人 70歳～79歳 71人 80歳～89歳 104人 90歳以上 12人)

・事業参加者の事後評価

運動機能評価

立ち居振舞い動作 改善 55%(37%)、維持 0%(1%)、悪化 45%(62%)  
 バランス機能 改善 33%(43%)、維持 5%(5%)、悪化 61%(52%)  
 最大歩行速度 改善 42%(33%)、維持 8%(11%)、悪化 50%(56%)

口腔機能評価

評価項目：嚥下・発音・衛生状態

口腔機能 改善 25%(22%)、維持 44%(71%)、悪化 31%(7%)

栄養指導評価 改善 3%(2%)、維持 89%(90%)、悪化 8%(8%)

BMI 18.4以下 0%(3%)、18.5～24.9 52%(58%) 25～29 42%(33%)

30以上 6%(6%) ※低栄養者には毎日給食サービスを導入している。

総合評価 継続参加者 188人(180人) 91.7%(92%)

介護保険移行者 17人(15人) 8.2%(8%)

- 生活管理短期宿泊事業                      事業費 115千円 (0円)  
     利用者 1人 22日間                      (0人)  
     一定期間の宿泊により生活習慣等の改善指導を実施(虐待緊急対応として実施)

○訪問型介護予防事業

- ・訪問指導                                      事業費 604千円 (533千円)  
     「閉じこもり」や「うつ傾向」により通所型事業(パワーアップ教室等)に参加できないため、保健師・看護師が定期的に訪問し、健康管理も含め本人の状況把握に努めた。  
     利用者: 36人(26人)      延べ訪問回数: 374回 (318回)
- ・毎日給食(二次予防事業対象者)サービス      事業費 167千円(119千円)  
     利用者 12人(11人)      延べ721人 (延べ481人)  
     安否確認含めた食事支援を実施した。

②一次予防事業

65歳以上の高齢者(二次予防事業対象者や要介護認定者を含む)が自由に参加できる介護予防事業として実施した事業

○介護予防普及啓発事業                      事業費 473千円 (494千円)

- ・水中ウォーキング教室(25年度新規)  
     総合型スポーツクラブとの連携で中津川市川上のプールを使用させていただき介護予防の視点から講師派遣に協力した。その後は自主グループとして活動している。  
     参加実人数: 35人      延べ103人
- ・体力測定事業  
     公民館との共催により町内7分館単位で夜間開催も含め実施した。測定結果に基づき講師による事後指導を各会場で実施した。  
     対象者: 60歳以上  
     参加実人数: 120人 (34人)  
     延べ参加人数: 240人
- ・いきいき料理教室  
     食生活改善推進協議会の協力により栄養士を雇いあげ各公民館単位で開催した。  
     実施回数: 16回  
     参加のべ人数: 196人
- ・いきいきサロン事業  
     介護予防サポーター企画による地区ごとのサロン(閉じこもり予防事業として支援)  
     サロン開催場所数 34か所 (33か所)  
     農業体験と世代間交流を主とする青空サロン 3か所 (3か所)
- ・老人クラブ等各種団体対象の講話  
     保健師による健康講話  
     実施回数: 6回  
     参加延べ人数: 250人
- ・こころの相談室                              自殺予防対策補助事業で実施  
     介護予防に資するため、認知症やアルコール関係・ひきこもり等の問題も含め精神科医師による個別相談会を開催した。  
     年: 4回開催 相談者実人数 10人 (14人)  
     担当医師: 松本市精神科医師 4回  
     相談内容: 精神疾患関係 1件 認知症関係 5件 ひきこもり関係 1件

○地域介護予防活動支援事業

事業費：399千円

・介護予防サポーター育成・サロン交流会

介護予防サポーター育成事業は今年度から社協が主体となり実施した。町は交流会支援として社協主催の交流会への協力を行った。

開催回数：1回（ホテル木曾路）

参加者：105人

・地域支えあい組織体制作り地域懇談会

生活実態調査の結果報告と、今後の体制作りのための懇談会を社協と協力して開催した。

開催回数：45会場（集会所単位）

参加者数：288人

・地域支えあい学習会

講師を招き、DVDを使用し先進地の状況を学習しながら、公民館単位で社協と協力して開催した。

開催回数：8回

参加者数：57人

③木曾広域連合施策評価事業

木曾郡内すべての地域包括支援センターが対象の事業で、木曾広域連合が事業主体となり、介護予防事業内容と介護給付についてデータを基に分析・評価を受けた。

(4) 包括的支援事業及び任意事業 ( )：24年度

①包括的支援事業 事業費 15,511千円 (15,667千円)

○指定介護予防支援事業

郡内の居宅介護支援事業所に委託を行った。(平成25年3月現在の委託事業所 4事業所) 利用者の自立に向けた明確な目標を設定しケアプランを作成した。

・平成25年度 介護予防ケアプラン作成実績

介護度	地域包括支援センター分		委託分	
	実対象者	プラン件数(延べ)	実対象者	プラン件数(延べ)
要支援1	2 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)
要支援2	10 (14)	79 (101)	8 (8)	42 (62)
合計	12 (14)	83 (101)	8 (8)	42 (62)

※地域包括支援センター分

上記他 介護予防日常生活支援総合事業分 実利用者 4人

・介護予防支援介護給付費 ※国保連合会からの収入 センター分・委託分を含む

延べ件数 125件 (163件)

事業費 548,360円 (706,800円)

※介護予防日常生活支援総合事業は収入なし

・介護予防支援委託料 ※委託先への委託料支払

延べ件数 42件 (62件)

委託料 192,160円 (298,680円)

○地域包括ケア体制の整備

- ・介護保険事業者等連絡会 開催回数 1回 (1回)  
 保険者である木曾広域連合・町内外の医療・介護にかかわる事業者等との連絡会を開催し介護を取り巻く諸問題について意見交換や情報交換を行った。
- ・地域ケア会議 開催回数 12回 (12回)  
 毎月1回町内外の介護サービス事業所との情報交換を含めたサービス調整会議を行った。介護を取り巻く諸問題や地域の課題についても情報交換を行った。
- ・ケアマネージャー会議 開催回数 7回 (12回)  
 ケアマネージャーの資質向上を図る観点から、必要に応じて事例検討、制度や各事業要綱の説明、施策などに関する情報交換を行った。
- ・サービス担当者会議 開催・参加回数 115回 (77回)  
 新規のプラン作成、変更などのサービス内容の調整等、必要時に開催した。  
 また、困難ケース・初回認定者など他事業所のサービス担当者会議へ参加した。
- ・あすなる荘との調整会議 4回 (4回)

○権利擁護事業

- ・成年後見人関係  
 町長による申し立て件数 0件 (0件)  
 司法書士等専門機関相談 4件 (3件)

・高齢者虐待関係

相談件数及び内容 ( ) : 24年度

相談者	相談件数	内訳				
		身体的	放棄	心理的	性的	経済的
本人	2 (0)	1 (0)				1 (0)
親族	0 (1)	0 (1)				
その他	3 (2)	1 (2)	2 (0)			
計	5 (3)	2 (3)	2 (0)			1 (0)

相談者のうち、「その他」とは介護保険事業者・民生委員やケアマネージャー等をいう。

虐待確認状況 ( ) : 24年度

相談件数	虐待	虐待ではない	調査中 (次年度へ継続)	内対応終了
5 (3)	4 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (2)

虐待と確認したものについては、関係者による対応会議を開催し、導入している介護保険サービスの内容を変更・緊急対応事業等利用等により対応している。

○任意事業

- ・家族介護者交流事業 (社協委託事業) 委託料: 92千円 (92千円)  
 対象者: 要介護1以上の方の介護者  
 参加者: 町内4会場 47人 (40人)
- ・家族介護教室 (社協委託事業) 委託料: 35千円 (0円)  
 利用者宅にて介護方法について個別教室実施 5回 (0回)
- ・認知症高齢者見守り事業 (社協委託事業) 委託料: 7千円 (30千円)  
 やすらぎ支援員を派遣し介護者の介護負担軽減をはかる 7時間 (30時間)
- ・毎日給食サービス (社協委託事業) 委託料: 389千円 (412千円)  
 要介護認定者への配食・安否確認サービス  
 実利用者数 33人 (36人)、延べ1,589食 (1,635食)

- ・高齢者実態調査の実施(社協委託・民生児童委員調査) 委託料: 201千円 (213千円)  
独居世帯 259世帯 (277世帯) 緊急連絡先・医療の状況・日常の支援など

(5) 認知症対策総合支援事業 事業費 82千円 (326千円)

○実施内容

- ・徘徊見守りSOSネットワーク関係  
認知症高齢者等が住み慣れた地域で生活していけるよう平成23年度から徘徊・見守りSOSネットワークを要綱を定め構築した。認知症高齢者や家族を支援するため同意の上で見守り支援をネットワーク関係者に依頼した。  
見守り支援依頼者 5名 (2名)
- ・認知症サポーター養成講座  
対象者：南木曾小学校3年生 44名  
南木曾中学校1年生 34名 保護者15名  
蘇南高校1年生 57名  
(平成24年度 一般住民 196名 7地区巡回型)
- ・講演会の開催  
住民対象に認知症について正しい理解をすることを目的に木曾広域連合との共催で講演会を開催した。  
講演会開催回数 1回 参加者数 町内160人 町外20人  
(町内123人)  
講師：大湫病院院長

(6) 地域支え合い住民意識調査 254千円

○実施内容

- ・生活支援に関する住民意識調査  
対象：20歳以上 1,900世帯 回収率：85.9%  
長寿社会づくりソフト事業交付金を利用し実施した。  
結果については集会所単位の地域懇談会で報告し広報でも周知した。

(9) 実績関係

① 第1号被保険者数 (単位：人)

年齢区分	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末
65歳以上75歳未満	724	669	660	681	706
75歳以上	1,086	1,092	1,078	1,085	1,081
(再掲)外国人	8	8	7	7	7
(再掲)住所地特例	6	6	6	7	5
合計	1,810	1,761	1,738	1,766	1,787
第1号被保険者のいる世帯	1,247	1,224	1,213	1,219	1,227

(世帯)

② 所得段階別保険料年額 (単位：円)

所得段階	21年度	22年度	23年度	所得の状況区分	24年度	25年度
第1段階	24,240	24,600	24,960	老齢年金受給者又は生活保護受給者	30,480	30,480
第2段階	24,240	24,600	24,960	住民税非課税世帯で年金収入80万円以下	30,480	30,480
第3段階	36,360	36,840	37,440	住民税非課税世帯で第2段階対象者以外	45,720	45,720
第4段階	48,360	49,080	49,800	本人は非課税だが世帯に課税者がいる	60,840	60,840
第5段階	60,480	61,440	62,280	本人課税者で合計所得190万円未満	76,080	76,080
第6段階	72,600	73,680	74,760	本人課税者で合計所得190万円以上400万円未満	91,320	91,320
第7段階				本人課税者で合計所得400万円以上	106,560	106,560

※平成24年度より第7段階新規設定

③ 保険料所得段階別人数 (単位：人)

所得段階	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
第1段階	5	5	6	7	6
第2段階	252	250	245	265	247
第3段階	264	270	265	287	284
第4段階	670	650	631	605	626
第5段階	437	426	449	442	448
第6段階	182	160	142	132	143
第7段階				28	33
計	1,810	1,761	1,738	1,766	1,787

④ 要介護認定者数 (あすなろ荘入所者のうち他町村出身者は除く)

・第1号=65歳以上、第2号=40~64歳以下で特定疾病によるもの

(25年度末) (単位：人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号	4	21	64	94	73	50	41	347
65歳~74歳	1	1	2	8	5	2	4	23
75歳以上	3	20	62	86	68	48	37	324
第2号	0	0	0	2	1	0	0	3
総数	4	21	64	96	74	50	41	350

(24年度末) (単位：人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号	1	20	63	88	64	53	37	326
65歳~74歳	0	1	6	4	5	2	2	20
75歳以上	1	19	57	84	59	51	35	306
第2号	0	0	1	1	0	0	0	2
総数	1	20	64	89	64	53	37	328

(23年度末) (単位：人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号	1	19	63	74	56	51	31	295
65歳~74歳	0	0	5	3	4	5	0	17
75歳以上	1	19	58	71	52	46	31	278
第2号	0	0	1	1	1	0	2	5
総数	1	19	64	75	57	51	33	300

⑤ 在宅サービス受給者の状況（延人数）

（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号	3	152	600	879	423	329	152	2,538
第2号	0	0	2	31	0	0	0	33
総数	3	152	602	910	423	329	152	2,571

⑥ 地域密着型サービス受給者の状況（延人数）

（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号	0	8	10	29	104	20	0	171
第2号	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	0	8	10	29	104	20	0	171

⑦ 施設介護サービス受給者の状況（延人数）

（単位：人）

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	合計
第1号	617	190	11	818
第2号	0	0	0	0
総数	617	190	11	818

⑧ 各種給付サービスの状況（高額介護サービス費、審査支払手数料は除く）

（単位：件・円）

給付サービスの内容	件数	費用額	給付額	前年度給付額
在宅サービス	8,111	335,720,785	305,434,141	293,180,741
介護サービス計画	2,574	32,854,754	32,854,754	33,124,752
訪問介護（ヘルパー）	672	25,647,042	23,082,335	24,296,738
通所介護・通所リハビリ	1,989	160,971,497	144,874,335	131,326,179
訪問看護	424	16,075,830	14,468,247	14,618,954
訪問入浴・訪問リハビリ	29	1,428,373	1,285,535	2,791,512
短期入所	634	64,175,187	57,757,659	58,605,581
福祉用具貸与	1,430	19,347,270	17,412,543	16,172,208
居宅療養管理指導	247	1,813,330	1,631,997	1,599,579
福祉用具購入	40	1,016,740	915,061	522,159
住宅改修費	21	2,324,202	2,091,778	1,892,831
特定施設入所者生活介護	51	10,066,560	9,059,897	8,230,248
地域密着型サービス	180	48,492,490	43,643,241	36,041,967
認知症対応型通所介護	0	0	0	5,452,965
認知症対応型共同生活介護	180	48,492,490	43,643,241	30,589,002
施設サービス	844	229,683,006	206,714,689	193,485,169
介護老人福祉施設	637	174,685,362	157,216,819	150,237,918
介護老人保健施設	195	51,976,684	46,779,006	38,638,441
介護療養型医療施設	12	3,020,960	2,718,864	4,608,810
サービス合計	9,135	613,896,281	555,792,071	522,707,877

⑨ 各種給付サービスの構成比（高額介護サービス費、審査支払手数料は除く）

給付サービスの内容	件数	費用額	給付額	前年度給付額
在宅サービス	88.8%	54.8%	55.0%	56.0%
介護サービス計画	28.2%	5.4%	5.9%	6.3%
訪問介護（ヘルパー）	7.4%	4.2%	4.2%	4.6%
通所介護・通所リハビリ	21.8%	26.2%	26.1%	25.1%
訪問看護	4.6%	2.6%	2.6%	2.8%
訪問入浴・訪問リハビリ	0.3%	0.2%	0.2%	0.5%
短期入所	6.9%	10.5%	10.4%	11.2%
福祉用具貸与	15.7%	3.2%	3.1%	3.1%
居宅療養管理指導	2.7%	0.3%	0.3%	0.3%
福祉用具購入	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%
住宅改修費	0.2%	0.4%	0.4%	0.4%
特定施設入所者生活介護	0.6%	1.6%	1.6%	1.6%
地域密着型サービス	2.0%	7.9%	7.9%	6.9%
認知症対応型通所介護	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
認知症対応型共同生活介護	2.0%	7.9%	7.9%	5.9%
施設サービス	9.2%	37.5%	37.2%	37.0%
介護老人福祉施設	7.0%	28.5%	28.3%	28.7%
介護老人保健施設	2.1%	8.5%	8.4%	7.4%
介護療養型医療施設	0.1%	0.5%	0.5%	0.9%

## ⑩ 標準負担減額認定者

(単位：人)

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	その他	合計
25年度	47	1	0	0	64	112
24年度	62	0	0	0	72	134
23年度	52	3	0	0	54	109
22年度	47	1	0	0	54	102
21年度	40	1	0	0	54	95

## ⑪ 介護老人福祉施設の待機者の状況

(単位：人)

区分	介護老人保健施設等	医療機関に入院中	在宅介護	総数
平成25年度末	14	3	39	56
平成24年度末	11	4	35	50
平成23年度末	15	3	26	44
平成22年度末	20	9	20	49
平成21年度末	19	7	27	53

## 4. 国民年金関係

### (1) 年金加入状況

○基礎年金加入者（703人）の20歳以上人口（3,942人）に対する割合は、17.8%で前年度に比べ0.7ポイント（33人）の減少となった。

○保険料免除者（119人）の基礎年金1号被保険者（436人）に対する免除率は、27.3%で前年度に比べ1.8ポイントの増加となった。

1	基礎年金	被保険者数	703人（△33人）
		1号被保険者	436人（△15人）
		3号被保険者	262人（△18人）
		任意加入者	5人（0人）
2	付加年金加入者	被保険者数	19人（2人）
		強制加入者	2人（±0人）
		任意加入者	17人（2人）
3	保険料免除状況	免除者数	119人（4人）
		法定免除	43人（±0人）
		申請免除	76人（4人）
		免除率	27.3%（1.8%）
4	基礎年金・福祉年金事務費交付金		1,253,325円
			（前年度比31,235円減）

### (2) 年金受給状況

○国民年金受給者全体（1,795人）の20歳以上人口（3,942人）に対する割合は、45.5%で前年度に比べ1.1ポイント増加、28人の増となった。

#### 国民年金受給状況

年金種別	受給者数（人）	年金額（円）
老齢年金	1,700	1,156,296,100
障害年金	86	72,489,300
遺族年金	9	7,621,200
計	1,795	1,236,406,600

老齢福祉年金

0人

0円

### (3) 収納率

平成21年度	77.6%（△0.3%）
平成22年度	77.3%（△0.3%）
平成23年度	77.2%（△0.1%）
平成24年度	75.3%（△1.9%）
平成25年度	79.3%（4.0%）

## 5. 保健衛生関係

### (1) 感染症予防

#### ① 定期予防接種

乳幼児・児童・生徒を対象に、ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、四種（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）混合、不活化ポリオ、三種（百日咳・ジフテリア・破傷風）混合、麻しん・風しん混合、二種（ジフテリア・破傷風）混合、HPV（子宮頸がん）、日本脳炎の予防接種を医療機関委託で実施した。昨年度まで任意接種であったヒブ、小児用肺炎球菌、HPVが今年度から定期接種に加わったが、HPVは6月から積極的接種勧奨差し控えとなっている。日本脳炎は、対象となる3歳・4歳児のほか、積極的な勧奨の差し控えにより1期接種が不十分であった小学校2年生から5年生の児童と2期が不十分であった高校3年生を対象に接種勧奨を行った。また、その他の年齢で接種が不足していて希望される者についても接種機会の確保に努めた。予防接種委託料は6,724千円であった。

対象者へは、新生児訪問の際に接種方法等の説明をしながら予診票等を渡し、幼児・児童・生徒には個別通知、広報などでの周知を図っている。また、未接種者にはハガキ・電話での接種勧奨を実施している。

ヒブ	初回			追 加
	1 回目	2 回目	3 回目	
対象者（人）	37	37	35	35
接種者（人）	37	37	35	35
接種率（％）	100	100	100	100

小児用肺炎球菌	初回			追 加
	1 回目	2 回目	3 回目	
対象者（人）	35	34	34	33
接種者（人）	35	34	33	33
接種率（％）	100	100	97.1	100

三種・四種混合	初回			追 加	二種混合 (小学6年)
	1 回目	2 回目	3 回目		
対象者（人）	31	34	37	37	37
接種者（人）	31	34	37	35	36
接種率（％）	100	100	100	94.5	97.3

麻しん・風しん 混合	第1期 (1～2歳)	第2期 (5～6歳)
対象者（人）	33	40
接種者（人）	32	40
接種率（％）	97.0	100

B C G	
対象者（人）	29
接種者（人）	28
接種率（％）	96.6

日本脳炎	第1期			第2期
	初回		追加	
	1回目	2回目		
対象者(人)	50	53	36	13
接種者(人)	44	44	28	11
接種率(%)	88.0	83.0	77.8	84.6

不活化ポリオ	初回			追加
	1回目	2回目	3回目	
対象者(人)	3	2	8	36
接種者(人)	3	2	8	25
接種率(%)	100	100	100	69.4

HPV	1回目	2回目	3回目
対象者(人)	23	23	23
接種者(人)	11	10	7
接種率(%)	47.8	43.5	30.4

## ②インフルエンザ(季節性)予防接種

### 【医療機関別接種者数(人)】

町内	県内			県外			計
篠崎病院	古根医院	木曾病院	その他	坂下病院	中津川市民病院	その他	
600	103	5	76	380	18	17	1,199

満65歳以上の者(接種日当日65歳に達している者)及び満60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓又は呼吸器の機能等に一定の障害を有する者を対象に、平成25年10月21日から平成26年1月31日までの期間で一部公費負担(1,200円助成、ただし生活保護世帯等の方へは全額助成)によりインフルエンザ予防接種を実施した。

対象者数 1,824人(65歳以上者:1,816人、接種法施行令該当者:8人)

接種者数 1,199人(内全額公費負担5人、中津川市からの依頼による接種2人)

接種率 65.7%(H24年度 65.1%) 公費負担額(委託料) 1,452千円

## ③結核予防

### 【登録患者数(その年の12月31日現在、木曾保健福祉事務所調べ)】

年	21	22	23	24	25
木曾郡(人)	7	7	9	6	6
新発生 再掲	4	2	9	1	3
南木曾町(人)	2	3	5	2	2
新発生 再掲	1	1	3	0	1

登録者数は前年と変わらないが、25年に1人の新発生があった。

【検診車による胸部レントゲン検診】

区分	対象者(人)	実施者(人)	実施率(%)	要精検者(人)	結核発見者(人)
男	290	217	74.8	6	0
女	385	277	71.9	1	0
計	675	494	73.1	7	0

胸部レントゲン検診は65歳以上の者を対象に検診車で町内28ヶ所を廻って実施し、対象者の7割以上が受診した。7人が要精密検査となり、結核の発見はなかったが、肺がん1人が発見された。レントゲン検診委託料は415千円である。

④高齢者肺炎球菌予防接種

満75歳以上の者（接種当日75歳に達している者）を対象に、肺炎球菌予防接種への一部公費（3,000円助成）を負担する高齢者肺炎球菌予防接種助成事業を行った。接種を受けた109名に対し327千円の助成を行い、県後期高齢者医療広域連合から300千円の特別調整交付金を受けた。

(2) 母子保健

【妊娠届け出(母子手帳発行)数】

年度	21	22	23	24	25
人数	42	24	34	32	21
(内初産数)	19	12	11	14	6

【出生数】(乳幼児管理台帳より)

年度	21	22	23	24	25
人数	49	33	28	29	26

①健康診査

妊婦一般健康診査は、母子保健法に基づき14回分（併せて超音波検査4回分）の妊婦健診について、受診票または償還払いにより実35人、延べ285人の妊婦への補助を行っている。なお、妊婦健診にかかる県補助金は昨年度を持って廃止されている。乳児一般健康診査（1ヶ月健診）の補助を受診票または償還払いにより実施し、平成25年3月～平成26年2月までの出生者28人中24人（85.7%）が利用した。妊婦・乳児一般健康診査で委託料・負担金補助合計で2,508千円の補助を行っている。

乳児健診は、生後4ヶ月・7ヶ月・10ヶ月児を対象に月に1回実施し、対象者延べ82人全員が受診している。健診の際に、離乳食の進め方について栄養士より個別栄養指導を行っている。

幼児健診は、1歳6ヶ月・2歳・3歳児を対象に隔月で実施し、対象者延べ91人に対し、延べ88人が受診した。保育士による手遊び・絵本の読み聞かせの実施と保育相談、歯科衛生士による歯みがき指導、1歳6ヶ月児と育児に不安のある母を対象にした臨床心理士による心理相談を実施した。また、幼児食の試食をしてもらいながらの栄養指導を実施した。言葉の遅れ等発達が気になる子どもがみられ、歯科では昨年度同様の歯が多い状況にあり、一人の児が複数の歯を保有している状況であった。

## ②家庭訪問・健康相談

母子の心身の状況や養育環境等の把握と助言等による子育て支援を目的として、生後3ヶ月までの児の家庭訪問を在宅助産師と保健師により、対象者26人中22人（内、新生児期10人）に実施した。乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）として、安心こども基金事業補助金（国庫補助金）27千円の交付を受けた。

2ヶ月児相談を生後2ヶ月の児とその母を対象に月1回実施し、対象者29人中26人が利用、欠席者へは訪問で対応した。町の母子保健事業紹介、定期予防接種の説明の場、参加者同士の交流の場にもなっている。

1歳を迎えた児を対象に、児の育ちと子育て中の親の支援を目的にお誕生相談を隔月で行った。身体計測、子育てに関する講座や幼児期のおやつを試食を行い、対象者32名中出席者28名で、欠席者へは訪問にて対応した。

5歳児相談は、保護者の不安軽減とスムーズな就学支援を図る目的で、保育園年中児を対象に保育園・子育て担当と連携し実施した。対象者31人中30人が利用した。

乳幼児健診等のフォロー等で、保健師・栄養士による家庭訪問を延べ53件実施した。

## ③健康教育

### 【健康教育事業】

学 級 名	対 象 者	回数	受講者数
うまうまサークル (離乳食教室)	偶数月：5.6か月児と保護者 奇数月：8.9か月児と保護者	12回	延51人
思春期託児 体験事業	中学2年生	1回	50人

平成24年度から月齢を定めた全員に参加してもらい、「うまうまサークル(離乳食教室)」を実施している。調理実習なしで、最近の様子などの聞き取り調査・離乳食の試食をし、月齢において必要な働きかけを行った。欠席者や進みの遅い児には後日訪問をしている。なお、平成25年度より名称を「うまうまサークル」に変更した。

乳幼児と触れ合う体験を通して生命の尊さを学び、健全な母性・父性の育成を図る目的で、南木曾中学校2年生23人を対象に、思春期託児体験事業を実施した。助産師の話、赤ちゃんへの接し方等の事前学習を行った後、乳幼児の託児を行った。（その間、母親は助産師による性教育講話を受講）

## ④出産祝い金

平成25年度中に出生届出をした28名に対し、出産祝い金各2万円（合計560千円）を交付した。

## (3) 成人保健

### ①健康診査

医療保険者に義務付けられた「特定健康診査」・「特定保健指導」は国民健康保険に協力して実施している。

生活習慣病予防の観点から早い時期に生活習慣の問題点に気づき改善していくため、若年者（20歳～39歳の住民）を対象に「さわやか健康診査」を、後期高齢者等（75歳以上の者及び65歳以上の障害認定による後期高齢者医療被保険者）には、健康状態だけでなく生活状態にも重点をおいた「いきいき健康診査」を、国保特定健康診査と同日同会場で2日間実施した。

国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」に基づき、肝炎ウイルス検査（B型肝炎抗原検査・C型肝炎抗体検査）を健診に併せて実施した。40歳から75歳までの5歳ごとの節目年齢の者に肝炎無料クーポンを送付し、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない者に検診を呼びかけた。

肝炎無料クーポンのほか、特定健診等における独自追加検査費用について、県の健康増進事業費補助金として170千円の交付を受けた。

【健康診査受診状況（上段：25年度、下段：24年度）】

	対象者	受診者	受診率	異常なし	要指導	要精検・要医療	医療継続
さわやか健診	245人	65人	26.5%	24.6%	41.5%	20.0%	13.9%
	204人	68人	33.3%	29.4%	35.3%	19.1%	16.2%
いきいき健診	326人	62人	19.0%	3.2%	17.7%	22.6%	56.5%
	463人	72人	15.6%	1.4%	15.3%	20.8%	62.5%
健康増進事業	6人	0人	—	—	—		—
	7人	0人	—	—	—		—
肝炎ウイルス検診	514人	76人	14.8%	クーポン対象外受診4人		受診合計80人	
	503人	76人	15.1%	クーポン対象外受診4人		受診合計80人	

※ 対象者は検診該当者調査による（全住民から「職場・医療機関等で受ける」と回答した者以外を対象者として算出。ただし、肝炎ウイルス検診の対象者は、40.45.50.55.60.65.70.75歳該当年齢の数。）

※ 健康増進事業は40～74歳で医療保険に加入していない者の健診

※ 国保特定健診結果については「国民健康保険事業」の項に掲載

いきいき健診の結果については、各分館にて計5回結果報告会を開催し61人が参加した。血圧と低栄養についての集団指導とともに健診結果の見方の説明を行い、希望者には個別相談を実施した。国保特定健診、さわやか健診の受診者へは個別結果説明会を実施し、説明会にこられなかった者へは、保健師・管理栄養士が訪問し保健指導を行った。成人への保健師・栄養士の家庭訪問件数は延べ164件であった。

②がん検診等

【がん検診等受診状況（上段：25年度、下段：24年度）】

区分	対象者	受診者	(内施設)	受診率	要精検者	精検率	がんであった者	がん発見率	精検未受診者
胃がん	1,333人	207人		15.5%	28人	13.5%	1人	0.48%	4人
	1,551人	177人		11.4%	22人	11.5%	0人	—	2人
大腸がん	1,512人	433人		28.6%	29人	6.7%	0人	—	6人
	1,719人	414人		24.1%	28人	6.5%	2人	0.46%	3人
肺がん	1,963人	80人		4.1%	6人	7.5%	0人	—	2人
	1,907人	101人		5.3%	6人	5.9%	0人	—	2人
前立腺がん	—	56人		—	4人	7.1%	0人	—	1人
	—	38人		—	1人	2.6%	0人	—	0人
子宮がん	658人	120人	(60人)	18.2%	1人	0.8%	0人	—	0人
	733人	140人	(64人)	19.1%	4人	2.8%	0人	—	0人
乳がん	540人	139人	(57人)	25.7%	9人	6.5%	1人	0.71%	0人
	611人	128人	(57人)	21.0%	5人	3.9%	0人	—	0人
骨検診	918人	34人	(34人)	3.7%					
	231人	8人	(8人)	3.5%					

※対象者は検診該当者調査による(全住民から「職場・医療機関で受ける」と回答した者以外を対象者として算出している)。ただし骨検診の対象者は、24年度は40.45.50.55.60.65.70歳の女性、25年度は40～70歳の女性の数。

胃がん検診は、35歳以上の者を対象に3日間実施し、大腸がん検診は胃がん検診と同時で3日間・町民健診と同時で2日間の計5日間実施した。胃がんの発見が1名あるほか、胃炎12人・胃ポリープ6人・大腸ポリープ11人等の異常が発見されている。なお、大腸がん検診はがん検診推進事業のクーポン配布者289人中、26人の利用があった。

肺がん検診は、40歳以上の者を対象に1日実施し80人が受診、がんの発見はなかった。

前立腺がん検診は、50歳以上の男性を対象に特定健診等との同時実施で実施している。広報なぎそ・CATV等での周知で56名が受診、がんの発見はなかった。

子宮がん・乳がん検診は、検診車の集団検診1日と病院での施設検診10日間の2通りの方法で実施した。この検診で1名の乳がんが発見された。平成21年度から実施している国のがん検診推進事業については、町の検診(集団検診・施設検診)のほかに、医療機関委託での検診も実施し、子宮がんクーポン配布者88人中23人、乳がん検診クーポン配布者144人中42人の利用があった。

骨検診は子宮がん・乳がんの施設検診と同時に実施し、40～70歳の女性を対象に実施し、34人が受診した。

子宮・乳房・大腸がん検診クーポンについては、国のがん検診推進事業補助金の対象となり、268千円の交付を受けた。

#### (4) 精神保健

##### ① 自殺対策

自殺対策緊急強化事業の対面型相談支援事業として、地域包括支援センターと協力し精神科医師による「こころの相談室」を4回、町社協への委託事業として弁護士による無料相談を3回開設し、補助金240千円の交付を受けた。

そのほか啓発活動として、9月の自殺予防週間には役場、南木曾会館、駅などのポスターの掲示、啓発ティッシュを置くなどした。また、3月の自殺対策強化月間には「広報なぎそ」に相談機関一覧を掲載した。

##### ② 木曾南部断酒会支援

南木曾会館にて毎週金曜日の夜、木曾南部断酒会例会を開催しており、大桑、南木曾、木曾保健福祉事務所の保健師が交代で例会に出席している。南木曾町の会員の参加実人数は2人であった。例会には中津川市等からの参加もみられる。

##### ③ 家庭訪問

保健師による家庭訪問を延べ59件行った。

## (5) その他

### ① 献血

移動採血車による一般献血を南木曾町役場前にて1回実施し、献血者数24人の協力があった。(200ml 1人、400ml 23人) 献血者数は昨年より7人の減となった。

### ② 南木曾町赤十字奉仕団

南木曾町赤十字奉仕団は、24年度より区長会長(地域振興協議会長)と各区から選出された連絡員の代表を中心とする新体制になり2年目を迎えた。役員による奉仕団委員会を1回開催した。また、各分団(7地区)に助成金として計70,120円を交付した。

なお、赤十字に関する活動は全て日本赤十字社長野県支部からの交付金で賄われている。

### ③ 地区組織活動

保健補導員会は、検診該当者調査の配布と回収、受診票等の配布と受診勧奨の声かけ等の町の保健事業への協力の他に、独自事業として健康運動教室の開催(6回)、各種研修会への参加等の活動を行った。(町補助金160千円)

食生活改善推進協議会は、町管理栄養士を事務局として町等への保健事業への協力、保育園や高校での郷土食作り、介護予防いきいき料理教室における高齢者への調理アドバイス、脳卒中後遺症患者会(たんぽぽ会)でのお弁当作りなど、幅広い年代への関わりを通して良い食生活習慣の普及活動を行っている。(町補助金50千円)

### ④ 坂下病院救急医療負担金

坂下病院救急医療の経費について、4,324千円の負担金を支出した。

[負担金については坂下病院救急医療の経費から中津川市の普通交付税充当額を除いた金額に対して人口割及び時間外患者数の実績に基づく利用者割により算出される。(人口割及び利用者割の構成比率はそれぞれ50%)なお、平成26年度から平成28年度までを期間とする新たな協定が中津川市、南木曾町、大桑村の3市町村で締結され、算定方法はこれまでと変わらないが負担金は定額制になる。]